

令和7年度 第1回大府市児童老人福祉センター等運営委員会会議録（要約）

開催日時 令和7年7月4日（金） 午後3時00分～4時35分

開催場所 大府市立北山児童センター

出席委員 名古屋学芸大学ヒューマンケア学部教授 加古 有子
大府市民生児童委員協議会（児童部会長） 伊藤 きん子
児童老人福祉センターファミリークラブ（大府） 加藤 雅博
ゴールデンクラブおおぶ（副会長） 大嶋 民江
小中学校校長会代表（大東小学校長） 上野 忍

欠席委員 大府市子ども会連絡協議会（副会長 石ヶ瀬学区）中村 未来

事務局 大府市長、健康未来部長、こども若者支援課長、指導保育士、こどもニュージェネ係長、こどもニュージェネ係主査、福祉部高齢障がい支援課長、大府児童老人福祉センター館長、神田児童老人福祉センター館長、神田児童老人福祉センター北崎分館長、北山児童老人福祉センター館長、東山児童老人福祉センター館長、共和西児童老人福祉センター館長、共長児童センター館長、吉田児童老人福祉センター館長、石ヶ瀬児童老人福祉センター館長、子どもステーション所長

1 開会

（こども若者支援課長）

定刻となりましたので、ただいまから「令和7年度第1回大府市児童老人福祉センター等運営委員会」を開催いたします。

本日の司会を務めさせていただきます、こども若者支援課長の久野と申します。よろしくお願いいたします。

この委員会は「大府市児童老人福祉センター等運営委員会規則」にございますように、児童センター及び児童老人福祉センターの運営並びに児童福祉に関する事項について審議をお願いする会議です。

本日の会議は、6名の委員のうち、大府市子ども会連絡協議会（副会長 石ヶ瀬学区）中村 未来様が欠席との連絡をいただいております。したがって、本会は委員6名のうち、1名の方がご欠席ですが、過半数のご出席を賜りましたので、この会議は成立しました。

会議の時間につきましては、1時間半を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。

会議の開催にあたりまして、資料の確認をさせていただきます。事前に会議資料を郵送しておりますが、お持ちでしょうか。

岡村大府市長からごあいさつを申し上げます。

2 あいさつ

（市長）

本日は大変暑くお忙しい中、第1回大府市児童老人福祉センター等運営委員会にご

出席いただきありがとうございます。

今年度から新たに大嶋さんが委員となっただき、ありがとうございます。

この委員会は各小学校区にあります、児童老人福祉センターで行っていることに対してご意見をいただく会議であります。昨年度からあんぱんまんにお邪魔し、保護者に話を聞く機会がありました。父が育休を取り、来館していたり、たくさんの方がいろいろなセンターを利用したりしている。暑い日は外の公園で遊べないため、センターを活用してもらっている。

親子連れで、室内で遊べる施設として東京のおもちゃ美術館をモデルとした施設を設計している。横根町の旧デイサービスセンターの建物を活用し、令和9年度に開館予定。より多くの親子が暑さをしのげる遊べる空間として利用してほしい。

これまで「第2・第4日曜日」を休館日としていた各センターの運用を見直した。中学校区内で日曜日にどこかのセンターが利用できるようし、好評である。

「児童老人福祉センター」名称を「こども幸齢者交流センター」と10月から名称変更する。年齢を重ねた高齢者「人生100年時代」にふさわしい「幸せな気持ちで年を取ってもらおう」という意味で「幸」齢者（サチレイシャと書いてコウレイシャ）という言葉を使っている。また、老人クラブ連合会を「ゴールデンクラブおおぶ」と4月から正式名称として使っている。

レクリエーション（eスポーツ）の関係でねんりんピックで優勝された。

幸齢者のレクリエーションをさらに充実したく、今年度から健康マージャンを普及していきたい。大府市制55周年ということもあり、健康マージャン大会を行う準備をしている。多くの方に参加してもらいたい。

子ども会行事の手伝いをするなど、幅広くたくさんの仕事をしている。これからの大府市の健康都市づくりにはなくてはならない施設だと考えている。忌憚のないご意見をよろしくお願いしたい。

（こども若者支援課長）

ありがとうございました。

この運営委員会は、令和6年4月1日から今年度末までの2年の任期で委員をお願いしております。委員の交代があり、今年度から新たに2人の方に委員をお願いすることとなりました。

今日お見えになっているのはゴールデンクラブおおぶの大嶋民江様になります。子ども会代表の中村未来様は欠席になります。

お二人につきましては、委嘱状をお渡しします。大嶋様におかれましては、机上に委嘱状を置かせていただきましたので、1年間よろしくお願いいたします。

委員の交代もありましたので、ここで改めて自己紹介を皆様をお願いいたします。次第の裏面、委員名簿の番号順にお願いいたします。

自己紹介 ※委員各自、名前および所属を発言
※事務局各自、所属及び名前を述べる

(こども若者支援課長)

ありがとうございます。

ここで市長は他に公務がございますので退席させていただきます。

(市長)

よろしくお願いします。

【市長退出】

(こども若者支援課長)

それでは、規則第5条第1項に基づき、以降の議事の進行は議長である委員長に行っていただきます。加古委員長、よろしくお願いいたします。

2 協議

(1) 「令和6年度児童老人福祉センターの活動実績と令和7年度活動計画について」

【資料1－2】

ア 北山児童老人福祉センター館長よりパワーポイントで説明

○質疑応答

(委員)

ボーネルンド遊具はどこから借りて設置しているのか。一年間通して行ったのか。

(事務局)

全施設で、順番に使用した。令和7年度は4センターで順番に行っている。

(委員)

ボーネルンドは人気がある。学校にあっても人気になると思う。数に限りがあるなら回して使用すると良い。人気がある玩具のため増えるといいと思う。学校でも使用できるとよいと思った。

(委員長)

ボーネルンドは大府市で購入したものか。

(事務局)

はい。

(委員)

こども部会のこどもの意見には、実現可能なものはあったか。

(事務局)

「スマホ」「飲食」等、全センターで決まっているルールは意見を収集し、今後検討していく。

各センターでルールを変更できるものは、センター内でこどもの意見が通るよう検討していきたい。

(こども若者支援課長)

こども部会開催については、後ほど詳しく本日の追加資料2－2、3－3を使って

説明をしていく。

(委員長)

麻雀クラブは長寿会でも行っている初心者向けの健康マージャン初心者教室と大会があるが、中学生（こども）か幸齢者のどちらを中心に行っていくのか。

(委員)

初心者向けの麻雀講座が7月31日（木）にあり、6月末に申込め切だった。夏休み期間中のため、中学生以上を対象とした。30～50歳代の方の申し込みもあったが、60歳以上の方の申し込みが多かった。マージャン大会については、初心者教室終了後、募集をかけていく。平日開催のため、60歳以上の方・経験者対象となる。

(委員長)

中高学生の参加はなかったということか。

(事務局)

はい。

(2)「令和6年度児童老人福祉センターの活動実績と令和7年度活動計画について」

【資料1-3】

ア 東山児童老人福祉センター館長よりパワーポイントで説明

○質疑応答

(委員)

パワーポイントの写真の使い方がカラフルで良い。インスタグラムで発信するなど、子育て世代の人が興味をもち、センターに行ってみたいと思うのではないかな。

(委員)

東山児童老人福祉センター独自の活動が魅力的だと思った。

東山カップ（卓球）があると聞き、「楽しかった」と聞いた。中学生と差があり、中学生が悔しがらる姿も見られた。他の地域との交流もできると良いと思った。

モルック大会に参加した。こどもから幸齢者まで参加できるため、他のセンターにも広がっていくとよいと思った。

こども食堂が公民館で始まっている。国際交流でベトナム料理を振る舞い、市長とこどもと一緒に食べる機会があった。食事を通しての交流もあり、積極的で良いと感じた。

(委員長)

インスタグラムで情報発信しているが、顔出しの許可をどのように取っているか。

(事務局)

初回の来館時に保護者に確認をしている。インスタグラムを見て来館する保護者が多いため、今のところ拒否する保護者はいない。

(3)「令和6年度大府市子育て支援の活動紹介と令和7年度活動計画について」

【資料2-1】

ア 子どもステーション所長よりパワーポイントで説明

○質疑応答

(委員)

ファミリーサポートの援助会員は令和6年度は、新規が4人ということか。援助会員の年齢層は高いのか。

(事務局)

はい。年齢層は高く、子育てを終わられた50～60歳代の方である。

(委員)

ファミリーサポートの会費や報酬はどうしているか。

(事務局)

利用時間で支払っている。

依頼会員が援助会員に支払っている。金額は時間・曜日によって違い、600～800円である。

(委員)

募集時にどれくらい周知されているのか、報酬費の単価が高いのか安いのか分からないが、援助会員を増やすには、会費・報酬を上げるなど、やりがいを持てるよう考えていけるとよい。

(事務局)

援助会員が少なく、利用できないということはなかった。

低年齢のこどもを預かるという責任感や長時間預かることの不安があると思われる。

(委員)

ボランティア保険等に入っているのか。

(事務局)

ファミリーサポートの保険に加入している。

(委員)

事業について、ゴールデンクラブおおぶに情報が入って来ていない。情報が入れば送迎ができるシルバーはいると思う。

(事務局)

男性の方もいる。周知の部分で検討していきたい。

(事務局)

依頼会員が1,000人程度いるが、常にご利用せず、保険として登録している方もいる。

(委員)

収支の関係もあり、バランスが取れると良いと思う。

援助会員が足りていないのであれば、何か方法を考えていくとよい。

(委員長)

援助会員が足りず、利用できなかったケースはあったか。

(事務局)

今年度は、当日依頼されたケースは利用できなかったが、前日に依頼があったケースは対応できた。

(事務局) 依頼会員の全員が依頼するわけではなく、保険のつもりで入っている方もいるので、依頼される方は決まっている。

(委員長)

ギリギリだが、何とか回っているということか。

(事務局)

はい。

(委員長)

全ての協議事項を終了しました。事務局にお返ししたいと存じます。

(こども若者支援課長)

委員長、ありがとうございました。

それでは、次第の3その他事項について、事務局から説明させていただきます。

3 その他

こども部会について

【資料3-1】

ア こども部会について 指導保育士より説明

○質疑応答

(こども若者支援課長)

ありがとうございます。ただ今の事務局の説明について取り組みについては今年度から試行錯誤しながら行っている。委員の皆様からご意見・ご質問等がありましたら言っていただけたらと思います。

(委員)

石ヶ瀬児童老人福祉センターの「トイレ」とはどういうことか。

(事務局)

個室のトイレが狭い。便座に座ると数10cm前に壁がある。大人だけでなく、こどもたちも苦痛だという意見が出たため、話し合った。

(委員)

改修するのか。

(事務局)

こどもの意見を聴き、改善方法の意見を市に伝えることと、後日市からの返答を伝えることとした。

(委員長)

こどもの権利があるが、こども自身が気付いていないということもある。

絵本のタイトルを教えてほしい。活動に生かしているのか。

(事務局)

保育園やセンターに購入し、貸し出しや読み聞かせなど活用していく予定である。

(委員長)

将来の子育て・支援に携わる人に知っておいてもらうと良い。至学館と連携して大学図書館にも配荷されると良い。

絵本「子どもによる子どものための『子ども権利条約』」は中学2年生が訳して作成されている。翻訳を谷川俊太郎が手伝ったと聞いている。小・中学生まで読める本であるため、ぜひ配荷されると良い。

(こども若者支援課長)

えがしらみちこ作の「子どもの権利きもちのプロジェクト『ようこそ こどものけんりのえほん』」を購入予定である。

(こども若者支援課長)

その他については以上です。本日の議題はすべて終了しましたが、最後に何点か事務連絡がございます。

次回第2回運営委員会のご案内をさせていただきます。来年2月10日(火)午後1時30分から、共長児童センターでの開催を予定しておりますが、皆様のご都合はいかがでしょうか。会議が近づきましたら改めて案内を郵送させていただきますので、よろしくお願いいたします。

なお、児童老人福祉センターの名称ですが、次第の一番下にあります通り、10月からこども幸齢者交流センターに名称変更いたしますので、ご承知おきください。

また、子どもステーションの名称も、呼称は変わりませんが、「子」がひらがなの「こ」に変更しますので併せてご承知おきください。

また、本日委員の皆様のお席に、7月分の児童センターだよりを封筒に入れてお配りしております。児童センターだよりは各センターでの毎月の行事予定について載せている物ですが、来月分以降のセンターだよりにつきましては、本市ウェブサイトに掲載しておりますのでそちらをご参照いただければと思います。

また、新たに委員になられた方には、先日開催案内と共に送付しました相手方登録申請書、個人番号届出書を本日お持ちの方におかれましては、会議終了後お預かりさせていただきますので、事務局にご提出いただく様をお願いいたします。

本日出席された委員の皆様のうち報酬対象の委員報酬につきましては、後日指定された金融機関口座に振り込ませていただきますので、よろしくお願いいたします。

お時間が過ぎて申し訳ありません。以上を持ちまして本日の予定を全て終了いたしました。

皆様、長時間に渡り、ご協議いただきまして誠にありがとうございました。

お気を付けてお帰りください。